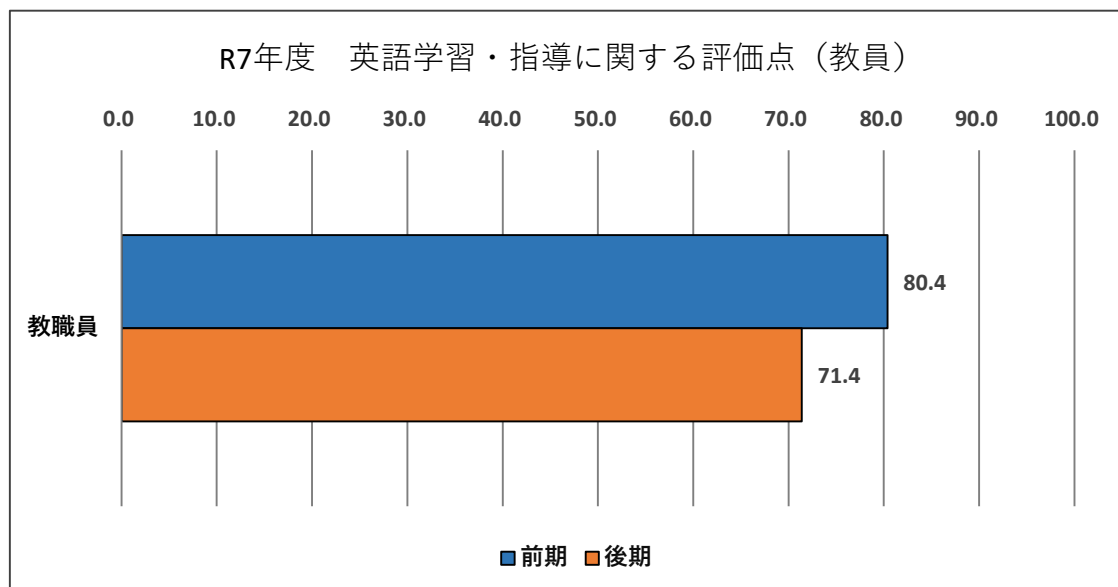


## 令和 7 年度 英語学習に関する学校評価



○実施時期 前期：7月・後期：12月

○質問項目

教職員：子どもたちが関心や意欲をもって英語の学習に取り組めるように工夫し、その成果が現われてきた。

（とてもそう思う・そう思う・あまり思わない・まったく思わない）

※評価点について、【強い肯定】【弱い肯定】【弱い否定】【強い否定】の4段階で評価。その結果を【強い肯定】100点、【弱い肯定】75点、【弱い否定】25点、【強い否定】0点として得点化しました。50点で【ふつう】と考えています。

○考察

各担任は毎年英語の授業を重ねているものの、指導に対する自信や手ごたえはまだまだ満足していないことが評価の数値から推し量ることができる。英語での表現活動の増加や、英語に慣れ親しむために楽しさのある授業づくりなど、MICと連携した授業づくりは進めているが、今後英語パイオニア教師の配置も要求していくなど、抜本的な手立ても考慮する必要性も感じる。